

スーダン文化遺産保護専門家会合

確認された主要原則に関する報告書

(2026年2月24～27日 東京・京都・大阪)

私たち、2026年2月24日から27日にかけて東京・京都・大阪で開催された「スーダン文化遺産保護専門家会合」の参加者は、現在も続く戦争により深刻な脅威にさらされているスーダンの豊かで多様な文化遺産の保護と復興に対する共通の責務を、ここに改めて確認する。

本会合では、スーダンの文化遺産を「スーダン自身の視点」から理解し保護することの根本的な重要性が強調された。持続的で実質的な国際協力は、スーダン人専門家および地域コミュニティの知識・優先事項・能力に基づいて構築されるべきである。私たちはスーダン政府および関係機関の中心的役割を認識するとともに、今後の協力を形づくるうえでコミュニティに根ざした専門性が不可欠であることを確認した。

私たちは、スーダン各地の博物館、遺跡、文書館、コミュニティ文化空間が直面している危機的状況、そして文化遺産専門家が抱える重大なリスクに深い懸念を表明する。

また、極めて困難な状況下で文化遺産の保護に尽力しているスーダンの諸機関——在日スーダン共和国大使館、文化・情報・観光省、国立古代遺跡博物館（NCAM）、カッサラ・コミュニティピースパークなどの地域主導の取り組み——の献身的努力を認め、これを称える。

参加者はまた、戦争の影響を受けたスーダンの文化遺産の状況について、UNESCO が国家当局と共同で監視を行っている重要な役割を確認した。UNESCO が遺跡や博物館のリスク評価・被害調査のために提供した資金、ならびに違法取引対策に向けた国家関係者の能力強化に対する不可欠な支援に感謝の意を表す。特に、UNESCO スーダン事務所が示した効果的な支援と継続的な関与に対し、特別の謝意を表す。

会合期間中には、在日スーダン共和国大使館、NCAM、UNESCO、ICESCO、文化庁、東京文化財研究所との非公式意見交換が行われた。また、スーダン代表団は国立民族学博物館およびJICAの関係者とも面会した。これらの意見交換では、ICESCO の意義ある参画が特に強調され、日本の政府機関および文化機関との新たな対話の扉を開いたことが確認された。本会合は、NCAM と ICESCO がこの種の意見交換を行う初めての機会となった点でも重要である。

参加者は ICESCO の積極的な貢献を歓迎し、その取り組みが UNESCO を含む他の国際パートナーの役割を補完するものであることを確認した。本ワークショップは、ICESCO と日本の諸機関との間に有望な新たな関係を築く重要な一歩であり、今後の協力深化と共同事業の発展に向けた基盤となると評価された。

参加者は、以下の協力分野を進展させる必要性を確認した。

1. 緊急記録化、リスク評価、モニタリング体制の強化
2. 被害を受けた博物館・遺跡・文化機関の復旧支援
3. 保存修復、博物館運営、防災などの分野におけるスーダン人専門家の能力強化
4. 生活文化・平和構築・社会的結束を支えるコミュニティ主体のアプローチの推進
5. すべての協力をスーダン自身の視点・優先事項・文化的文脈に基づいて実施することの確保

スーダンの文化遺産を守ることは、同国の人々のアイデンティティと記憶を守るだけでなく、平和構築および長期的復興に寄与する点でも極めて重要である。

私たちは、本会合の開催にあたり揺るぎない支援を提供した文化庁および東京文化財研究所に深く感謝する。また、本会合を通じてスーダンと日本の専門家が直接対面し、相互理解を深め、新たな協力の精神を育む機会が得られたことを歓迎する。さらに、在日スーダン共和国大使館による不可欠な支援、日本の高官との会合調整、そして一連の過程における丁寧なフォローアップに対し、心より謝意を表す。

私たちは本声明を締めくくるにあたり、協力の深化、資源の動員、そして未来の世代のためにスーダンの文化遺産を守り抜くという私たちの共同責務を改めて確認する。

2026年2月27日

日本・大阪

参加者

Dr. Abdelrahman Ali (UNESCO スーダン事務所 文化ユニット長／元 NCAM 局長)

H.E. Mr. Khalid Fathalrahman (ICESCO 文明間対話センター長)

Dr. Shadia Abdrabo (NCAM 博物館部門 副部長)

Mr. Elnzeer Tirab (国立民族学博物館 館長)

Dr. Amani Noureldaim (国立民族学博物館 諮問委員会 議長)

H.E. Mr. Elrayih Mohamed Elawad Hydoub (在日スーダン共和国大使)

Mr. Ali Mohamed (在日スーダン共和国大使館 参事官)

石村智 (東京文化財研究所 無形文化遺産部 部長)

二神葉子 (文化財情報学) / 国立文化財機構東京文化財研究所文化財情報資料部文化財情報研究室 長

千葉毅 (考古学・保存科学) / 国立文化財機構文化財防災センター研究員 (兼) 国立文化財機構東京文化財研究所保存科学研究センター研究員

関広尚世 (考古学) / 京都市埋蔵文化財研究所調査研究技師主任

清水信宏 (建築史学) / 北海学園大学工学部建築学科准教授

※本著作物で述べられている知見、解釈、および結論は、必ずしも組織やそれらが代表する政府の見解を反映するものではありません。

Signature Page

Non-binding Document on Collaborative Cultural Heritage Actions (2026)

Dr. Abdelrahman Ali

Head, Culture Unit, UNESCO Sudan Office

Former Director General, National Corporation for Antiquities and Museums (NCAM)

Signature:

A handwritten signature in blue ink, consisting of several overlapping loops and a horizontal line, positioned above a horizontal line.

Date: 9/4/2026

Signature Page

Non-binding Document on Collaborative Cultural Heritage Actions (2026)

H.E. Mr. Khalid Fathalrahman

Director, ICESCO Center for Civilizational Dialogue

Signature:



Date: 8.4.26

Signature Page

Non-binding Document on Collaborative Cultural Heritage Actions (2026)

Dr. Shadia Abdrabo
Deputy Director, Museums Sector
National Corporation for Antiquities and Museums (NCAM)

Signature:



Date: 8/4/2026

Signature Page

Non-binding Document on Collaborative Cultural Heritage Actions (2026)

Mr. Einzeer Tirab
Director, National Ethnographic Museum

Signature:

A handwritten signature in blue ink, consisting of stylized initials and a surname, enclosed within a hand-drawn circle. The signature is positioned above a horizontal line.

Date: 13 APR / 2026

Signature Page

Non-binding Document on Collaborative Cultural Heritage Actions (2026)

Dr. Amani Noureldaim

Chairperson, National Ethnographic Museum Advisory Committee

Signature:

amani

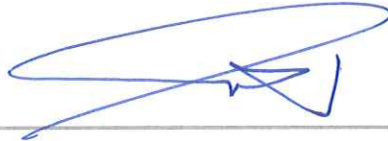
Date: 8/4/2026

Signature Page

Non-binding Document on Collaborative Cultural Heritage Actions (2026)

H.E. Mr. Elrayih Mohamed Elawad Hydoub
Ambassador, Embassy of the Republic of Sudan in Japan

Signature:

A handwritten signature in blue ink, consisting of a large, stylized loop followed by a series of sharp, intersecting lines.

Date: 8-4-2026

Signature Page

Non-binding Document on Collaborative Cultural Heritage Actions (2026)

Mr. Ali Mohamed

Counselor, Embassy of the Republic of Sudan in Japan

Signature:



Date: 8-4-2026

Signature Page

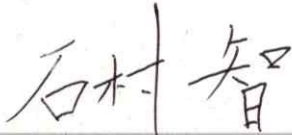
Non-binding Document on Collaborative Cultural Heritage Actions (2026)

Dr. Tomo Ishimura

Director, Department of Intangible Cultural Heritage

Tokyo National Research Institute for Cultural Properties (TOBUNKEN)

Signature:



Date: April 20th, 2026

Signature Page

Non-binding Document on Collaborative Cultural Heritage Actions (2026)

Ms. Yoko Futagami

Head, Cultural Properties Information Section

Department of Art Research, Archives and Information Systems

Tokyo National Research Institute for Cultural Properties (TOBUNKEN)

Signature:

二神 葉子

Date: 2026/2/27

Signature Page

Non-binding Document on Collaborative Cultural Heritage Actions (2026)

Mr. Tsuyoshi Chiba

Researcher, Center for Conservation Science

Tokyo National Research Institute for Cultural Properties (TOBUNKEN)

Researcher, Center for Cultural Heritage Disaster Risk Management

Signature:

千葉 毅

Date: April 17, 2026

Signature Page

Non-binding Document on Collaborative Cultural Heritage Actions (2026)

Ms. Naoyo Sekihiro

Senior Archaeological Director

Kyoto City Archaeological Research Institute

Signature:

関広尚世

Date: 2026/2/27

Signature Page

Non-binding Document on Collaborative Cultural Heritage Actions (2026)

Dr. Nobuhiro Shimizu

Associate Professor, Faculty of Engineering

Hokkai Gakuen University

Signature:

Nobuhiro Shimizu

Date: APR. 15 2026